

国語 主語・述語・修飾語・指示語など（B）

五年 組 番 名前

問一

次の例文のように、文中の指示する言葉（こ・そ・あ・ど言葉）が指している言葉に.....線を引きましょう。

（例）今日は暖あたたかいです。だからこの~~~~~シャツ~~~~~を着て出かけます。

- ① お皿が三つ残っています。あの~~~~~食器棚~~~~~に片付けてください。
- ② 壁かべに絵が飾ってあります。これは、祖父そふが描かいたものです。
- ③ レストランに着きました。ここの肉料理は、とてもおいしいです。

問二

次の文の.....に入る接続語（つなぎ言葉）を、後の.....からもっとも当てはまるものを一つずつ選んで書きましょう。

- ① 友達と買い物に行った。.....、お店は休みだった。
- ② 私は泳ぐことが好きだ。.....、よくプールに出かける。
- ③ 朝から雨がふっている。.....、午後からは風も強くなるそうだ。
- ④ 明日は晴れてほしい。.....、運動会が予定されているから。

だから なぜならば しかし しかも

問三

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

ここに茶わんが一つあります。中には熱い湯がいっぱい入っております。ただそれだけではなんのおもしろみもなく不思議なこともありません。□、よく気をつけて見ていると、だんだんといろいろな細かいことに気がつき、さまざまな疑問が起こってくるはずです。ただ一杯のこの湯でも、自然の現象を観察し研究することの好きな人には、なかなかおもしろい見物です。

第一に、湯の表面からは白い湯気が立っています。これは、熱い水蒸気が冷えて、小さな滴になったのが無数に群がっているのです、ちょうど雲や霧と同じようなものです。この茶わんを、縁側の日なたへ持ち出して、日光を湯気にあて、向こう側に黒い布でもおいてすかして見ると、滴の、粒の大きいのはチラチラと目に見えます。場合により、粒があまり大きくないときには、日光にすかして見ると、湯気の中に虹のような、赤や青の色がついています。これは白い薄雲が月にかかったときに見えるのと似たようなものです。

（『茶わんの湯』寺田寅彦。出題にあたり、一部書き改めたところがある）

- ① この文章には、いくつの形式段落があるでしょうか。段落の数を漢数字で書きましよう。

段落

- ② 文章中の□に当てはまる言葉を、あとの□から一つ選んで書きましよう。

さて ところで また しかし

- ③ 文中で、□が付いている指示語が指している言葉を書きましよう。

□